

令和7年度 創薬サイエンス部門研究支援

岡田 欣晃 (大学院薬学研究科)

【研究課題名】

中高分子薬を脳内送達する技術の開発と脳疾患治療へ応用

【研究概要】

世界的な高齢化により、脳疾患に対する新しい治療薬が切望されているが、その開発は難航している。その主な原因に血液脳関門の存在がある。血液脳関門は、脳血管が持つバリア機能であり、異物侵入から脳を守っている。一方で、血液脳関門は薬の脳内移行をも妨げるため、治療薬開発の大きな足かせとなっている。我々は、これまでに開発した低分子薬の脳内送達技術を、中高分子薬の送達技術へと深化させることを目指し研究を進めている。